

食品製造業の抱える課題を解決する食品製造総合展

FOOMA JAPAN 2027

会期：2027年6月8日（火）～11日（金）の4日間

出展申込受付は、2026年9月1日（火）～10月15日（木）

2027年のテーマは、CREATE THE FUTURE WITH FOOMA!
食品製造の“これから”を支える技術やアイデアが集う、50回目の開催



開催テーマ：
**CREATE THE
FUTURE WITH
FOOMA!**

一般社団法人日本食品機械工業会（東京都港区／会長：大川原行雄）は、2027年6月8日（火）～11日（金）の4日間、東京ビッグサイト東展示棟全館（1～8ホール）にて、“CREATE THE FUTURE WITH FOOMA!”をテーマに、“FOOMA JAPAN 2027”を開催します。

2027年は、1978年の初回から数えて50回目の開催となります。この節目を到達点ではなく通過点と位置付け、見据えるのはその先にある食品製造の未来。多様な技術を持つ出展社が集い、来場者とともに新たな50年への第一歩を踏み出す場を提供します。

つきましては、FOOMA JAPAN 2027の開催に向け別紙（出展のご案内）の通り、2026年9月1日（火）より、全21出展分野の出展受付とスタートアップゾーンの参加受付を開始いたします。出展申込受付締切は、2026年10月15日（木）です。

50回目は、未来への起点。 FOOMA JAPANが“共創のプラットフォーム”となる

FOOMA JAPAN 2027は、50回目という節目を未来への新たな出発点と位置付けます。日本が培ってきた食品製造技術と最先端テクノロジーが融合する最前線として、出展社・来場者・主催者が一体となり、次世代の食品製造に向けた課題解決や新たなソリューション創出につながる場を目指して開催いたします。

FOOMA JAPAN 2027 出展で広がるチャンス

●食品製造の未来を担う「フードテック・AI・DX・ロボット」分野へ刷新

2027年は、最先端技術を扱う出展分野の名称を「ロボット・IT・IoT・フードテック」から「フードテック・AI・DX・ロボット」へ刷新。ピッキングロボット、協働ロボット、自律移動ロボット、AI、IoT/M2M、食品工場用ソフト、スマートキッチン、フードロスシステムなど、食品製造とデジタル技術を融合した製品・サービスが集まることで、食品製造の課題解決につながる技術を、業界に広く発信する機会となります。

●東展示棟全館（1～8ホール）で開催 — 食品製造の技術・ビジネスがさらに拡大

東京ビッグサイト東展示棟全館（1～8ホール）を会場に、食品製造に関わる幅広い技術・製品・サービスが集結します。2026年は1,056社が出展し、67,721名が来場。2027年も、食品メーカーをはじめ、スタートアップを含む国内外の企業や研究機関などが集い、製品・技術の発信から、新たなビジネスや交流へとつながる機会を創出します。

●約9割がターゲット来場者との出会いを実感。新規顧客獲得にもつながる展示会

FOOMA JAPAN 2026の出展社アンケートでは、92.9%が「来場者は自社のターゲットに合致していた」と回答。また、86.5%が「新規顧客獲得につながった」と回答しており、食品製造に関わる企業が、自社の製品・技術を必要とする顧客と出会う場となっています。

●優れた製品を顕彰し、認知向上・PRにつなげる「FOOMAアワード」

出展製品を顕彰する「第6回FOOMAアワード2027」では、優れた食品機械・装置を選定し、新聞・専門誌をはじめとするメディアへの情報発信にもつなげます。

●展示から商談、会期後のフォローアップまで「FOOMA IDリーダー」

「FOOMA IDリーダー」により、ブース来訪者の情報を取得できるため、会期後のフォローアップやマーケティングにも活用可能です。展示するだけでなく、認知獲得から商談、会期後の営業活動まで、出展機会を次のビジネスにつなげられます。

Press Release

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

FOOMA JAPAN 2027 展示会実行委員会 委員長 林 純一 挨拶



**FOOMA JAPAN 2027
展示会実行委員会
委員長 林 純一**

世界一の食品製造総合展への進化を続けてきたFOOMA JAPANが2027年に掲げる開催テーマは、「CREATE THE FUTURE WITH FOOMA!」です。

50回目の開催を機に、未来へ向けてさらに進化していくために、出展社・来場者・そして私ども主催者が三位一体となって「食の未来をともに創造する展示会を目指す」という強い決意を込めました。

今日、日本のフードイノベーションは、新たな領域に差し掛かっています。国内では食品製造業と大学、行政機関などが連携し、地域の食材や食の技術を活用して、新たな製品や販路、ブランドを創出する取り組みが各地で進んでいます。また、フードテックが日本成長戦略の戦略分野の一つとして位置付けられ、企業や業界を超えたテクノロジーの共創に向け動き始めています。

よってFOOMA JAPAN 2027は、50年先の食を見据え、出展社・来場者がともに未来を創造できるよう、次世代に向けた課題解決や新たなソリューション創出の場となることに尽力する所存です。

本展への出展は、自社の優れた技術や製品を広く発信するだけでなく、食品産業の新たな可能性を切り拓き、未来の市場を創造する絶好の機会であります。50回目を迎えるFOOMA JAPANが、未来の食品製造におけるイノベーション創出の出発点として、最大限の出展効果が得られますよう、全力で役割を果たしてまいります。

皆様の積極的なご出展を、心よりお待ちしております。

開 催 概 要

- 名 称 : FOOMA JAPAN 2027
- 目 的 : 食品機械・装置および関連機器に関する技術ならびに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することとし、「食の安全・安心」に関心が高まる中、食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスを通して、「食の技術が拓く、ゆたかな未来」を提案する。
- 会 期 : 2027年6月8日（火）～11日（金）の4日間 午前10時～午後5時
- 会 場 : 東京ビッグサイト 東展示棟1～8ホール
- 規 模 : 1,056社（36,688.5㎡）※出展社数は共同出展社を含む（2026年開催実績）
- 来場者数 : 67,721名（2026年開催実績）
- 入 場 : 完全来場事前登録制
- 公式WEBサイトで、来場事前登録を行い、入手した「クイックパス（入場証）」を印刷し会場へ持参。
※未登録の場合は、入場料1,000円（税抜）
- テ ー マ : CREATE THE FUTURE WITH FOOMA!
- 主 催 : 一般社団法人日本食品機械工業会 <https://www.fooma.or.jp/>
- 公式WEBサイト : <https://www.foomajapan.jp/>

Press Release

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

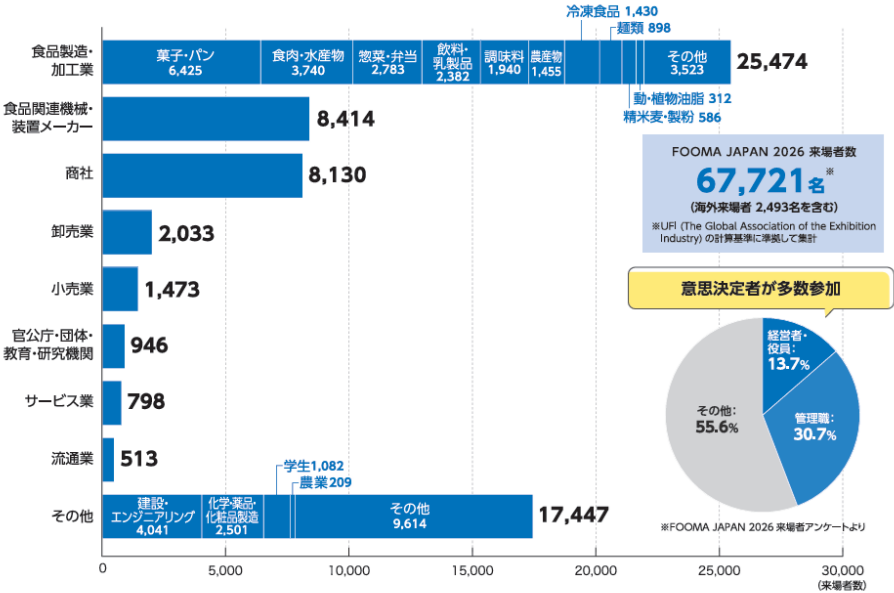
来場者が6.7万人を超え、過去最多1,056社が出展した FOOMA JAPAN 2026

FOOMA JAPAN 2026来場者 業種別割合

FOOMA JAPANは国内外から大きな注目を集めており、国内外から67,721名の来場者を迎え、食品製造に携わるすべての業種にとって課題解決の場となりました。

食品製造のあらゆる分野が集結し、食の未来を創るビジネスマッチングを実現

【業種別来場者数(国内)】



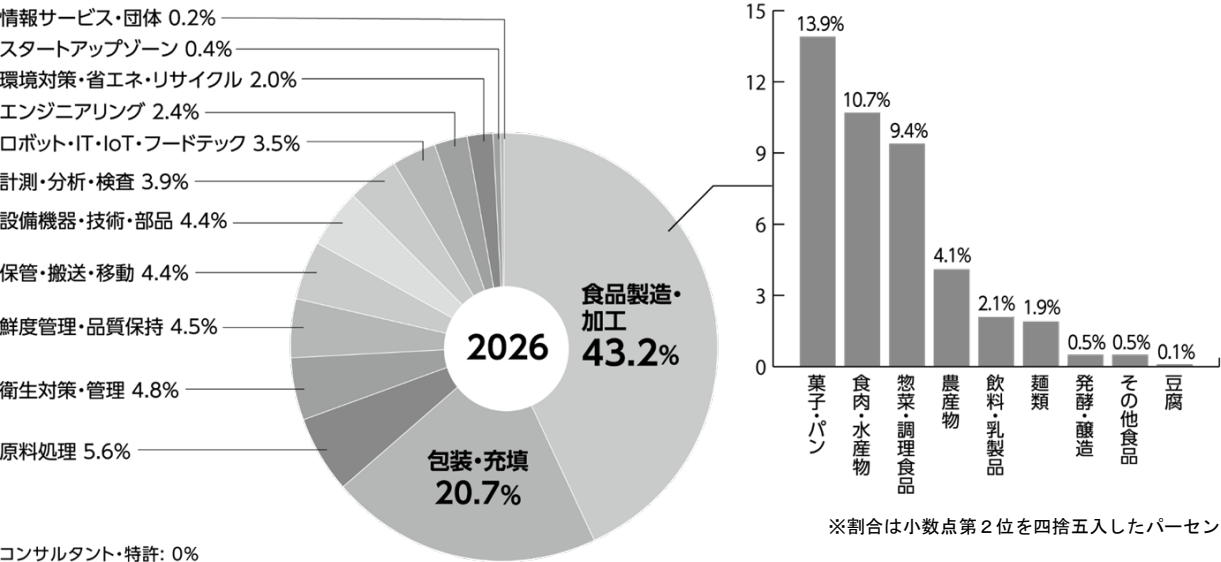
FOOMA JAPAN 2026出展社 分野別割合

過去最多の出展社数1,056社を記録し、FOOMA JAPAN 2026は食品製造業の全てのソリューションを提供する場として活用され、ビジネスマッチングを一層促進し、出展社にとっても絶好の機会となりました。

年度	2026	2025	2024
出展社数	1,056	1,007	989
出展面積 (㎡)	36,688.5	35,262.0	35,479.5

新規
130社 / 1,777.0㎡

◎出展分野別 出展面積割合



Press Release

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

一般出展規約

【申込期間】

◆一般申込受付期間

2026年9月1日（火）10時～10月15日（木）23時59分59秒まで。

出展申込は先着順ではありません。

申込多数の場合、出展製品・サービス、出展規模、過去の実績、必要とする設備・附帯事項などを考慮して、主催者により出展社を決定します。

【申込方法】

出展申込はオンライン方式のみでの受付となります。申込フォームに入力の上、お申し込みください。

※オンライン申込方式については、9月1日公開のFOOMA JAPAN 2027公式WEBサイト

（<https://www.foomajapan.jp/>）をご覧ください。

※郵送、電話、FAX、メール、持参での受付はできません。

【出展申込み詳細問合せ先】

FOOMA JAPAN 運営事務局

〒108-0023 東京都港区芝浦3-19-20 ふーまビル3F

TEL：03-6809-3745（受付時間：月～金 10:00～16:00） E-mail：notification@foomajapan.jp

【出展料】

タイプ	単位数	サイズ	出展料（税抜）	タイプ	単位数	サイズ	出展料（税抜）
A	1	2.97m×2.475m	¥298,000	E	6	8.91m×4.95m	¥1,788,000
B	2	5.94m×2.475m	¥596,000	G	9	8.91m×7.425m	¥2,682,000
D	4	5.94m×4.95m	¥1,192,000	※サイズはシステム寸法（芯々寸法）です。 ※出展料には消費税が課されます。			

【出展申込受付対象分野（21分野）】

①原料処理

混合・攪拌・混練機、粉碎・分級・造粒機、ふるい機・網、乾燥機、殺菌装置、熱交換機、脱水機、ニーダー、ホモジナイザー、開袋機など

②食品製造・加工

①「菓子・パン」：オーブン、ミキサー、焼成機、成形機、デポジッター、ドウコンディショナー、蒸し器、包・製あん機、コーティング機、テンパリング機、スライサー、製パンラインなど

②「食肉・水産物」：スライサー、カッター、チョッパー、ダイサー、テンダーライザー、ミキサー、成形機、ソーセージ・ハム充填機、ハンバーグ成形機、インジェクター、スタッパー、タンブラー、魚体処理機、燻煙・熟成室など

③「麺類」：製麺機、即席麺製造プラント、パスタ製造機、餃子・ワンタン・焼売・包子製造装置、茹上機など

④「惣菜・調理食品」：オーブン、フライヤー、炒め機、ロースター、蒸し機、焼成機、加熱攪拌機、炊飯機、形成機、粉付機、寿司・おにぎり製造機器など

⑤「飲料・乳製品」：飲料プラント、濾過装置、果汁飲料製造装置、搾汁機、飲料充填機、飲料滅菌装置、濃縮装置・乳化装置など

⑥「農産物」：野菜・果物洗浄機、精米機器、洗米機、カッター、スライサー、千切り機、皮むき・芯取り機、選別機、異物除去装置など

⑦「豆腐」：豆腐プラント、豆乳プラント、脱臭機、フライヤー、油揚げ製造機、湯葉製造機、焼豆腐製造機、豆腐用型箱、納豆製造機など

⑧「発酵・醸造」：蒸留装置、圧搾機、均質機、乳化装置、発酵用タンク、発酵室、製麹機など

⑨「その他食品」：割卵機、ゆで卵殻剥機、油濾過機、油塗装置、食品用印刷機、高圧食品製造機など

Press Release

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

③エンジニアリング

工場設計・設備エンジニアリング、HACCP管理、植物工場、RFID、トレーサビリティなど

④フードテック・AI・DX・ロボット **出展分野名が変更になります！（変更前：ロボット・IT・IoT・フードテック）**

ピッキングロボット、パレタイジングロボット、協働ロボット、自律移動ロボット、ロボットアーム・ハンド、システムコントローラ、IO-Link、AI、IoT/M2M、食品工場用ソフト・システム、システムインテグレーション、スマートキッチン、キッチンOS、フードロスシステム、代替技術、フードデータなど

⑤鮮度管理・品質保持

予冷・冷凍・冷却・凍結装置、解凍装置、チラー、冷蔵・保冷库、貯蔵設備、紫外線・オゾン応用装置、殺菌・滅菌装置、空調装置など

⑥包装・充填

各種包装機器、充填機、計数・計量機、結束機、シーラー、インクジェットプリンター、印字機、ラベルシール機、包装資材など

⑦保管・搬送・移動

コンテナ、コンベア、ベルト、チェーン、リフト、選別機、運搬車両、ホース、ポンプ、タンクなど

⑧計測・分析・検査

計測機器、分析機器、検査機器、検出機器、測定・試験機器、画像処理機器、センサー、異物検査・除去装置など

⑨衛生対策・管理

施設・容器・器具洗浄機器、機能水生成装置、クリーンルーム、シートシャッター、ユニフォーム、異物・害虫混入防止機器・装置、洗剤・薬剤、衛生資材など

⑩環境対策・省エネ・リサイクル

排水処理装置、エネルギー有効利用システム、ごみ処理装置、省エネ機器・設備、省エネ技術、省エネソリューション、コンポスト化機器・システム、乾燥機、再資源化処理装置・技術、減容機器、リサイクル機器、汚泥処理装置・技術など

⑪設備機器・技術・部品

ボイラー、バルブ・継手、ノズル、タンク、ホース、モーター、潤滑油、添加剤、熱風発生機、膜および膜利用技術、フィルター、床材、監視カメラ、LED照明など

⑫コンサルタント・特許

商品開発、衛生管理、食品施設、食品表示、品質表示、HACCP、廃棄物処理、食品安全、エネルギー・特許情報配信、特許移転、最新特許開示など

⑬情報サービス・団体

新聞・雑誌・書籍・映像、調査・研究・試験、団体・機関、自治体など

FOOMA JAPAN 2027 *startup*

**FOOMA JAPANはスタートアップ企業の食品製造業界への進出を支援します！
スタートアップゾーン出展社募集中！**

2022年のスタート以来、「スタートアップゾーン」は、革新的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業と食品製造業界をつなぎ、新たなビジネス創出を後押しする場として展開してきました。自社の技術・製品・サービスを食品製造業界へ広く発信できるほか、食品メーカーや食品機械メーカーをはじめとする多様な企業との接点を通じて、共創・協業や新たなビジネスにつながる機会を創出します。食品製造の課題解決や新たな価値の創出に挑む、スタートアップ企業の皆さまのご出展をお待ちしています。

スタートアップゾーン出展規約

<FOOMA JAPANスタートアップゾーンとは>

食品機械・設備に限らず、Tech・IT・AI等の最新テクノロジーを組み込んだ画期的な製品やプラントベースなど革新的技術で開発された幅広い食に関わる製品・技術・サービスが出展対象となります。

1. 出展対象

- ・ 自らが開発・企画に携わり、革新的な製品・技術・サービスを保有し、新しいビジネス成長を目指している日本国内の企業・団体・機関
ベンチャー企業、スタートアップ企業、大学・研究機関など
- ・ 設立9年以内の企業（2018年以降に設立された企業）
- ・ 商社、卸売業、小売業は対象外
- ・ 日食工正会員・賛助会員・団体会員は対象外

2. 出展製品

- ・ 現在商用化している製品。または3年以内に商用開始見込みの製品
- ・ 自社ブランド製品であること
- ・ 形態、実物の製品に限る
- ・ 試作品、ソフトウェア、オンラインサービス等は出展可能
- ・ 企画・設計、コンセプトレベルの製品は対象外

3. 出展製品カテゴリー

- ・ 幅広く食に関わる製品・技術・サービスであること

4. 出展申込と出展社の決定

- ・ 出展申込はオンラインのみでの申込となります。出展申込は先着順ではありません。
申込フォームに必要事項を入力の上、申込みを行ってください。社判、代表者印、担当者印は不要です。
- ・ 運営事務局から受理書を発行した時点で出展が確定します。

5. 出展申込受付時間

- ・ <オンライン申込> 2026年9月1日（火）10時～10月15日（木）23時59分59秒まで

6. 出展料

- ・ 90,909円（税抜）

※イージーブース（2m×2m＝4㎡）付。

7. ピッチプレゼンテーション

自社の製品・技術・サービスを来場者に紹介することができるピッチプレゼンテーションステージの利用が可能です。（費用は出展料に含みます）

※ピッチプレゼンテーションの実施時間、回数、その他詳細は、出展決定後に出展社にご案内します。

報道関係の皆さまへ

FOOMA JAPAN 2027公式WEBサイト「プレスルーム」のご案内

FOOMA JAPAN 2027 公式WEBサイトに、報道の皆さまがご活用いただける素材を収納してある「プレスルーム」をご用意しています。

公式WEBサイトの最下部のフッターに「プレスルーム」と表示していますので、そちらをクリックして入室してください。

※ID、PWは必要ありません。

<コンテンツ内容>

プレスリリース、出展案内、ロゴキット、写真・エレメント素材など

名 称 : 「プレスルーム」 (FOOMA JAPAN 2027公式WEBサイト内)

URL : <https://www.foomajapan.jp/press/> (9月1日(火)より公開)

<出展に関するお問合せ先>

FOOMA JAPAN 運営事務局

TEL : 03-6809-3745 (受付時間 : 月～金 10:00～16:00)

FAX : 03-6809-3746

E-mail : notification@foomajapan.jp

公式WEBサイトURL : <https://www.foomajapan.jp/>

報道関係の皆さまのお問合せ先

FOOMA JAPAN 運営事務局 広報担当 武中

TEL : 03-6809-3745 (受付時間 : 月～金 10:00～16:00)

FAX : 03-6809-3746

E-mail : info@foomajapan.jp

公式WEBサイトURL : <https://www.foomajapan.jp/>